

## 志楽地区のみなさま

一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会  
会長 藤原 輝治 (田中西町内会長)

新緑の候、志楽の皆様には ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと このたび はからずも一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会の初代会長に就任いたしました。微力ではございますが、鋭意、成果を上げるよう取り組む所存でございます。

なにとぞ よろしくご教導を賜りますようお願い申し上げます。

東に霊峰青葉山、西国観音霊場33箇所の中29番札所松尾寺、829年開山の金剛院、そして 遠く西方に五老ヶ岳を望み東西に志楽川が流れ、多くの神社、史跡がある志楽谷であります。私は住みやすいこの地が大好きです。 I love Shiraku. なのです。

「志楽郷」は、今の志楽谷、朝来谷、河辺谷に大浦半島が含まれていたとみられ、中世の「志楽庄」は、今の志楽谷と河辺谷を含んでいて、志楽庄春日部村が現在の志楽にあたるそうです。江戸期の志楽庄は志楽谷と祖母谷、与保呂谷、森、行永を含み、森、行永、与保呂上、与保呂下、溝尻、堂奥、多門院、浜、市場、泉源寺、田中、安岡、小倉、鹿原、吉坂、松尾の16ヶ村の総称だったそうです。新舞鶴町、中舞鶴町が誕生した明治22年から舞鶴市と東舞鶴市が誕生した昭和13年までの加佐郡志楽村は泉源寺、田中、安岡、小倉、鹿原、吉坂、松尾、市場の8ヶ村で構成されていました。そうして、現在では、ご存知のように、松尾、吉坂、鹿原、鹿原西、安岡、安岡新町、小倉、小倉西、小倉新町、田園町、田中東、田中中、田中西、泉源寺の14町で構成されています。

住民世帯数も平成24年10月1日現在で2407世帯、人口は5677人。これは、平成19年の2267世帯、5568人と比べても増加していることがわかります。日本全国どこを見渡しても減少傾向にある中、志楽は稀有な地域なのであります。

拡大し続ける志楽において、より住みやすい、より安全な志楽にするために、各町内会の会長が中心になって活動するのが一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会であります。さらに、年1,2回開催の総会には各町内会から選出された方々(社員と呼びます)に出席いただき、活動などについてご意見をいただきます。つまり、開かれた協議会として運営してまいります。1つ1つの町内会が個別に活動するより、協議会として活動するほうが効率的かつ有利であることはたくさんあります。幼稚園、小学校、中学校の入学、卒業式、市内の他の自治会との連携、日ごろ私たちの安全のために訓練をしてくださっている消防団との協力、志楽交番との連携、そして、市内のさまざまな団体(防災協会、交通対策協議会、舞鶴の川と海を美しくする会などなど)との交流、また、府や市に対する陳情、さらに敬老会や運動会の開催も志楽ダイヤモンド協議会が関わっています。

志楽には、内科の医院がありません。高齢化が進み、通院のことを考えると、地域に病医院を誘致することも、必要になってくると思われます。今後、協議会で検討する課題となるでしょう。1町内会の力ではできないことも、協議会で可能になることがあります。

当面の課題として、協議会の建物の問題と現在協議会から脱退している町内会の復帰に正面から取り組まなければなりません。皆様の大いなるご協力とご指導をお願いする次第です。前段に書きましたように、志楽には長い歴史があります。このご挨拶を書くにあたり、志楽の歴史を調べていると、志楽の名の由来に行き着きました。丹後風土記によると、日本書紀に次のようにあるとのことです。少彦名命(すくなひこなのみこと)と大穴持命(おおあなむちのみこと)が当地を訪れ天火明命(あめのほあかりのみこと)にこの地を統治するように言ったところ、天火明命はたいそう喜び、『永く良い国 青雲の志良久の国』と、言ったとのことです。これが「志楽」の名の由来だそうです。

先人が幾多の困難を乗り越えて築きあげて来たこの地を、私たちの代で分裂させてはなりません。永く良い国を継承していかなければなりません。

なにとぞ よろしくお願ひいたします



## 設立の経緯

任意団体

志楽区長会

平成17年8月9日。志楽農協撤退で建物を譲受

平成18年1月27日

任意団体

志楽ダイヤモンド協議会

名称変更、目的拡大、運営委員会を創り地域有志の活動を支援

欠陥：不動産登記を個人名義で行っていた。

平成20年3月12日

認可地縁団体

志楽ダイヤモンド協議会

不動産登記。地域力再生交付金申請

借り入れ 会館改修

不動産の資産保全上、登記可能な法人格を得る必要があった。

運営委員会を育成部、園芸部、文化部の3部制とした。

欠陥：志楽地区の個人会員で組織していた。

：会員名簿の更新管理が必要であった。

：本則と細則に不一致があった。

平成27年3月11日

一般社団法人

志楽ダイヤモンド協議会

平成26年度組織改革委員会が一般社団法人への移行を提言

平成26年11月3日 臨時理事会で一般社団法人化を決議

平成27年3月3日 公証役場にて定款を認証

平成27年3月11日 京都地方法務局にて一般法人設立の登記受理

志楽地域の町内会が機能的に実質的な加入の効果を発揮できる。

区長を自治会選出の代議員として町内会の意見を反映できる。

運営委員会の活動方針



志楽うまか市は、本年度11回目を迎えます。新鮮野菜の販売、炊き込み御飯、杵付き餅、志楽鍋等、多彩な物品を提供しています。



志楽幼稚園の園児たちが喜ぶ体験を提供しています。注連縄、昔遊び、餅つきなど多彩な催しをしています。



ダイヤモンド農園では健康食品として優れたヤーコンの栽培をしています。志楽地区への普及を目指しています。



将来の科学者を目指して、舞鶴高専の学生達が作成したロボットを、学生達の指導の下、実際に動かして見る催しを計画しています。



椅子に座ってできる体操を毎月1回開催しています。健康保持の為には適しています。

運営委員を募集しています。一緒に活動したい方は運営委員長 左近敏伸 又は運営委員のどなたかへご連絡下さい。

川柳 題「肌」「写真」「空」「脈」  
 年頃の乙女の肌の美しさ  
 古写真のこの人誰と孫が聞く  
 慢心の安部さん忠告 上の空  
 脈ありと 思わせぶりのあの笑顔



本格的なバーベキュー文化が、志楽地区で普及することを目指しています。

川柳を募集しています。題「祈り」「約束」3句以内を投稿下さい。締め切り日：6月末日 投稿先：伊藤直人 625-0024 田中町6-4

伊藤直人  
 堀本輝規  
 山本昭子  
 西沢秀子

一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会 組織

社員総会  
 正会員 自治会、及び、運営委員会選出の代議員  
 理事会  
 役員全員  
 企画会議  
 会長、副会長、専務理事、常務理事  
 運営委員会  
 事務局長  
 会計担当  
 庶務担当  
 広報室長  
 会報担当  
 HP担当  
 事業部長  
 文化部会  
 育成部会  
 園芸部会

平成27年度 一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会 役員名簿

会長	藤原 輝治	田中西区長
副会長	河西 哲夫	田中中区長
副会長	富室 孝	鹿原区長
理事	小東 幸夫	吉坂区長
理事	砂田 敏昌	鹿原西区長
理事	瀧花 務	安岡区長
理事	千代島 高広	田園町区長
理事	藪本 浩巳	安岡新町区長
理事	前田 隆文	小倉区長
理事	船木 敏幸	小倉西区長
理事	伊籐 順	小倉新町副区長
理事	谷奥 岩太	泉源寺区長
専務理事	左近 敏伸	運営委員長
常務理事	梅垣 清	事務局長
常務理事	伊藤 直人	広報室長
常務理事	田村 紅陽	事業部長
監事	谷奥 喜代晴	
顧問	福村 暉史	舞鶴市議会議員

ホームページ <http://shiraku-diamond.com/index.xhtml>  
 「一般社団法人志楽ダイヤモンド協議会」で検索